



With Kids

海外に住む子どもたちの心の健康をサポートする臨床心理士の会

●● Newsletter 15号 2015年 12月 15日 ●●

黄色の落ち葉の絨毯をかさかさとして踏みしめながら、今この時も、地球上で空爆におののき逃げ惑う人々、突然の多発テロに遭遇し、恐怖とやり場のない憤りに震える人々のことが頭から離れません。肉親や友人を失った方々へ心からの哀悼の意を表します。いつの間に残り1カ月となってしまったカレンダーに、今年ほど平和とは、戦争とは、と考えさせられた年はなかったなあと、過ぎた日々を振り返っています。今年訪問させていただいた国で、出会った方々のお顔を思い出しながら、With Kidsの活動が、今年も多くの皆さまに支えられながら、無事終える事ができたことに心からの感謝を申し上げます。(K.K)

With Kids に望むこと

海外に住む子どもの支援を精力的に行っておられるWith Kidsが今年10年目を向かえられたとのこと、大変心強く感じます。With Kidsのスタッフは日本で臨床心理士としての仕事をもちながら、世界各地からのメール相談に応じたり、アジアや欧州で講演会や教員研修などの活動も行っておられます。同じく、海外に住む子どもや保護者を支援する者として、敬意の念を強く感じています。

私が所属する NY日本人教育審議会・教育相談室は1993年から子どもの心のケア、発達、教育に関する相談をお受けしてきました。日米の事情に通じた教育・心理の専門家が、NY周辺に住む邦人子女と保護者、その関係者を対象に、カウンセリングや養育ガイダンスなどの面接相談、世界各地からの無料電話相談をお受けしています。米国の教育制度、特に特別支援教育や不登校など心理面のケアは日本と異なる点が多いので、そのようなことに関する情報提供もします。また必要に応じ学校などへ訪問相談し、問題の背景にある文化的事情や対処法を現地校教員やカウンセラーにコンサルテーションしたり、措置会議に出て保護者のサポートも行います。

言葉はもちろん、習慣や価値観、コミュニケーションのあり方が日本と大きく異なるアメリカ文化の中で適応するのは容易ではありません。子どもは通常何か聞き取れる単語はないかと神経を張り詰め授業を聞き、涙ぐましい努力をしています。また積極的に自分の意見を主張することが

ニューヨーク教育相談室 森 真佐子

常に求められ、これもかなりのストレスとなり得ます。更に駐在家庭の子どもは帰国に備え、日本語の勉強も重要で常に200%要求されることとなります。ストレスから時に不適応を起こすこともあります。そうなれば保護者も慣れない言葉で現地校と対応せねばならず、保護者にとっても、これは更に大きなストレスとなります。

海外で生活する義務教育段階の子どもは約七万六千人と報告されていますが、異文化の心のケアや教育に関する相談に日本語で応じる海外の専門機関の数は十分とはいえません。現地校に通う子どもが多い米国でもそのような機関は数えるほどです。今後更に進むであろうグローバル化に伴い、異文化適応や多文化カウンセリングに精通した、子どもの心理や発達の相談を受ける専門機関の需要は今後も高まるでしょう。With Kids や当相談室のような児童専門の機関が、海外に住む子どもの状況や心のニーズについて、医療・教育関係者、企業関係者、また法律・政治関係者に問題提示していく重要性も今まで以上に増していきます。このような使命を私たちの団体が共有し、互いに連携協力して行ければ心強い限りです。

(森真佐子氏のご紹介)

- ・米国臨床心理学博士 NY州公認クリニカルサイコロジスト
- ・NY日本人教育審議会 教育文化交流センター 教育相談室 教育相談員
- ・神戸女学院大学 人間科学部 心理・行動科学科 客員准教授

海外での緊急事態に備えて

その国に住み慣れて、日常生活は問題なく過ごせるようになっていても、ひとたび事件や事故、災害のような緊急事態があると、言葉のわからない外国人は「弱者」になりがちです。緊急事態に備えて、日頃からどんなことができるのでしょうか？

住所を管轄する日本大使館や総領事館にメールアドレスを登録しておく、地元の安全情報を日本語で配信してもらえるメールマガジンサービスがあります。各館のホームページから登録することができますので一度覗いてみてはいかがでしょうか。



また、旅行者向けには「たびレジ」というサービスがあります。→ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/> 旅行先と期間、連絡メールアドレスを事前登録しておく、旅行中、滞在先の安全情報を配信してもらうことができるので、安心です。(S.K)



ネット依存から子どもを守るために

緊急事態への備えもあり、子どもにスマートフォン(以下スマホ)を持たせているご家庭も多いかと思えます。Twitter 等、緊急時に情報を得るのに有用と言われる一方で、ネット依存をはじめ、スマホ依存や有害サイト、SNS と、保護者として、子どものスマホ利用をどのように管理するか、対応に苦慮されている方も多いと思います。

数年前、アメリカで、ある女性が 13 歳の息子にスマホを与える際『スマホ 18 の約束』という誓約書を添付した話が話題になりました。愛情あふれた母から息子への『約束』が主な内容です。これに続いて『父からの秘密の助言』が発信されています。父から息子へ、思春期にある息子の気持ちに思いを馳せた、愛情あふれた『助言』となっています。

With Kids のスタッフが出会った事例に、タブレットの扱いに苦慮した母親がいました。母親から子へ、“この約束を守りなさい。守らなければペナルティー(タブレットを 1 ヶ月使用禁止にする等)を科します” という約束をしていたようですが、スタッフが「お子さんと、この約束について、改めて話し合ってみてはどうか」と提案しました。早速、母親は子どもに「タブレット利用に関する約束を、

あなたと相談して決めたい」と問いかけると、子どもははとも驚いていたそうです。これまで、愛情ゆえの、親から子への一方的な指示を主体とした関係性から、親子双方で問題に取り組むという関係性となった事は、子どもにとって“自ら判断し、責任をもって行動する一人の人として、親が自分を認めてくれた”という経験になったのだろうと推測します。

子どもを守りたいという思いから、つい、一方的な禁止や約束をしてしまいがちですが、子どもの主体性を尊重し、話し合いながら子育てをしていくことは、子どもが将来、成人し、自らの言動に責任をもって生きる大人に成長するための、大切な姿勢であると感じています。

久里浜医療センターでは「**ネット依存治療研究部門**」を開設しています。外来を訪れる患者の多くが若者で、中高生だけで全体の 50%を占めているという報告もあります。同センターのサイトには、ネット上で簡単にできる「ネット依存のスクリーニングテスト」や「PC、スマホ使用ルールづくりのポイント」など、子どものネット使用で困っている方に役立つ情報が載っています。(K.T)

(<http://www.kurihama-med.jp/tiar/index.html>)



2015 年度 海外訪問報告 & 日本心理臨床学会 参加報告

- I. ドイツ デュッセルドルフ訪問：7 月 8～13 日 (実質活動 3 日間：3 名参加) 昨年に引き続き 2 回目の訪問
日本人学校：教職員プログラム (アサーション・トレーニング、ストレスマネジメント、事例検討会ほか)
保護者プログラム (コモンセンス・ペアレンティング学齢期版、思春期の親子関係)
一般保護者向け：個別相談会、コモンセンス・ペアレンティング幼児版、
- II. 台湾(台北・高雄・台中)訪問：11 月 1～4 日 (実質活動 2 日間：3 名参加) 2 年ぶり 5 回目の訪問
日本人学校：保護者プログラム (国際結婚と子育て、思春期の子ども達、発達段階別対応 等)
生徒向けプログラム (ソーシャル・スキル・トレーニング) // 個別相談会
- III. 日本心理臨床学会 自主シンポジウム参加：9 月 19 日 @神戸国際会議場
テーマ：「海外訪問活動」 指定討論者：Dr.仲本光一 (外務省診療所長/Jamsnet-Tokyo代表)



メンバー紹介

田村明紀子 (たむらあきこ)：米国ワシントン DC 近郊在住です。9 年前に渡米以降、東南アジアを含めて 3 回の海外引越し。日本の常識は世界の非常識。そのギャップに圧倒されつつ、最終的に自分の中で「笑い」にする事で乗り切ってきたように思います。現在は子育てとボランティアの毎日。日本での 10 年余の教育・医療領域での経験を元に、転居先での新たな出会いを通じて地域の社会貢献への道を探る事がライフワークとなりつつあります。

無料のご相談メールは、ホームページにアクセスし、相談フォームにご記入の上、送信してください。

- 匿名での相談が可能です
- 1 つのご相談につき 3 往復までお受けします
- ご相談前に必ず、相談規約をご確認ください

● With Kids の HP は (財) KDDI の助成金で作成しました ●

ホームページアドレス：<http://www.withkids-kaigai.com/>

メール相談アドレス：soudan@withkids-kaigai.com

発行元/文責

With Kids -海外に住む子どもたちの心の健康をサポートする臨床心理士の会 -

代表： 澤谷厚子

事務局：〒227-0061 横浜市青葉区桜台 16-39

連絡先：soudan@withkids-kaigai.com

発行年月日：2015 年 12 月 15 日

